

視聴覚教育

NO. 49

発行日 54.1.16
 発行 岡崎市AVL
 編集 広報委員会

新任の先生入賞・自作TPコンクール

岩津小の塚本先生・細小の竹内先生

昭和53年度 県教育サービスセンターが募集した自作TP
 コンクールに岡崎市からは三十点の応募があった。

審査結果（岡崎関係）

〈入選〉

- 岩津小 塚本麗子先生（三年）
 - 細小 竹内順子先生（後進）
 - 六中 渡辺洋子先生（道二年）
 - 美中 深見 明先生（教員）
 - 岩津 平岩 昭先生（理年）
 - 福原 二村邦彦先生（後年）
- 「なおへ佳作」には広幡小・佐藤裕子先生はじめ15名の先生が入った。新任の先生四名が入賞・今後の活躍が楽しみである。

目録
視聴覚
教材
コンクール

岡崎からは

十作品を募集

五十三年度 県自作視聴覚教材コンクールの作品募集は一月十三日に締切られた。岡崎市からは次の作品が応募された。

▼ 学校教育部門ービデオ作品（九作品）

- 「本の借り方・返し方」……………（愛宕小図書館部）
- 「ひらがなの練習」……………（竜谷小学校）
- 「Toyful English」……………（英語部視聴覚サークル）
- 「地形もい作り」……………（ライブラリー自作委員会）
- 「こまだちのふどう作り」……………（ ）」
- 「米ぐくり」……………（ ）」
- 「とん屋」……………（ ）」
- 「みぞづくり」……………（ ）」

▼ 社会教育部門ーハミリ作品（一作品）

- 「しめなわ」……………（ライブラリー自作委員会）
- 冬休みも返上して、これらの作品作りに努力された先生もあり、多くの学校での活用をすすめたい。

授業のあそび VTR 利用

▼ 福岡中 三浦 久子

中学校に転動して以来、教室や理科室にテレビやVTR装置がないこともあって、つい視聴覚機器の活用を敬遠していたが、今年度になって理科室に常置しておけるようになりよく視聴するようになった。

二年生「動物の物質交代」の学習にVTRを利用してみた。「養物を運ぶ」では、心臓の動いているようすやしくみを見る生徒の目は今までの授業とは見られず、輝きがあった。また「血液をきれいに」では、じん臓病の中学生が生演し、人工じん臓による透析の実際を紹介してくれた。人工じん臓、透析という言葉を初めて耳にする生徒も多く、改めてじん臓の重要性を知ったようだ。

テレビを見せておけばそれでよいという安易な考えで利用するのはよくないが、生徒だけでなく教師にとって勉強になる



NHK 録音教材 購入!

▼ラジオ図書館	▼みんなの図書室	▼みんなの図書室	▼お記下までばこ
II	II	II	II
ラジオ図書館	みんなの図書室	みんなの図書室	お記下までばこ
II	II	II	II
高学年	高学年	中学年	小学低学年
()	()	()	(全十巻)

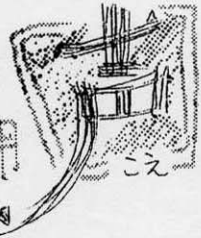
地質学習における「自作VTRの利用」

▼ 岩津中 酒井 久男 ▼

地質学習の第1歩は現地学習から始められるべきである。しかし実際には、身近な場所に教材に適した地学事象がなかったり、観察しにくかったりして容易に行なえるものではない。

本年度 岡崎市のレキ層の高さに着目させるという目的で自作VTR「私たちの土地のなりたち」を利用したが、地域教材でしかもわかりやすいという点で、生徒たちの興味を引き、学習が盛りあがった。

現地学習の問題点をカバーするものとして今後自作VTRを利用していきたいと考えている。



ことも多くまず見せることが大切ではないだろうか。これからはも入りに授業に取り入れていきたいと考えている。